

基準日：2016年5月2日

## 基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について（5月2日）

あおぞら投信株式会社

### ◆5月2日基準価額下落について

弊社投資信託の基準価額は、4月28日～4月29日の世界株式市況の下落、および為替市場における円高を受け、以下に掲げる公募ファンドにつきまして前日比5%以上の下落となりましたので、基準価額下落の背景となった市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告いたします。（株価相場、為替相場につきましては、別表をご参考ください。）

### ◆基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド

ファンド名	基準価額	前日比	騰落率
あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド (愛称:てっさん)	8,518円	-503円	-5.58%

### ◆基準価額下落の背景となった市況動向等

4月28日～29日のグローバル株式市況が下落した要因としては、28日に米国の1-3月期実質GDP(速報値)が+0.5%と予想(+0.7%)を下回ったことに加え、日銀が追加緩和を見送ったことなどが嫌気され、米国株式市場が値を下げる展開となり、29日は欧州株式相場が軟調な推移となっていたことに加えて、米個人消費支出(3月)、シカゴ購買部協会景気指数(4月)などが市場予想を下回ったことや、原油先物価格が下落したことなども投資家心理を冷やす要因となり、米国株式市場が続落したためです。加えて、28日のニューヨーク外国為替市場で、米国の1-3月期実質GDP発表を受けて、ドルが主要通貨全てに対して下落したことも、基準価額を大きく押下げる要因になりました。また、28日の日本時間において日銀が追加金融緩和を見送ったことも、急激なドル安円高になった大きな要因の一つといえます。

### ◆今後の見通しと運用方針

今回の基準価額の大幅な下落要因は、日本が休日であったために2日分の下落を一度に反映したためともいえますが、株価と為替レートの双方が下落した背景には一部に同じ要因が作用しています。それは米国のGDP成長率や個人消費が低調なことで、企業収益の見通しに対する懸念が浮上したことで、同時にFRB(米連邦準備制度理事会)が利上げに対して慎重なスタンスをより明確にしたことです。米国の期待よりも弱めの景気実態と、それを反映した金融政策により、投機的なドル売り円買いが一斉に出たため円高が進みましたが、1ドル=100円を超えて円高が進むかという点、その領域は行き過ぎと考えられ、そのような局面ではむしろグローバル株式のような海外資産は積極的に買増す機会と考えます。株価バリュエーションも割高な水準ではなく、長期的に良好なリターンをもたらすグローバル株式投資においては、時間を味方に付けるドルコスト平均法(時間分散)による投資や、下がったところはチャンスと捉えて買増す投資手法等も有効と考えます。

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■当資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■当資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。  
■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

(別表)

【株式相場】

指数名称	4月29日	4月27日	騰落幅	騰落率
米国S&P500指数(4/27-4/29)	2,065.30	2,095.15	-29.85	-1.42%
英国FTSE100指数(4/27-4/29)	6,241.89	6,319.91	-78.02	-1.23%
香港ハンセン株式指数(4/27-4/29)	21,067.05	21,361.60	-294.55	-1.38%
香港H株指数(4/27-4/29)	8,939.47	9,037.48	-98.01	-1.08%
日本TOPIX指数(4/27-4/28)	1,340.55	1,384.30	-43.75	-3.16%

※現地通貨ベース(配当含まず)、小数点以下第3位四捨五入

【為替相場】

通貨名称	2016/4/29	2016/4/27	変化幅	変化率
日本円/米ドル	106.50	111.46	-4.96	-4.45%
日本円/ユーロ	121.94	126.22	-4.28	-3.39%

※為替レートは、米ニューヨーク市場17時時点のレート。(出所:ブルームバーグ)

※小数点以下第3位四捨五入、4月27日-4月29日

以上

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■当資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■当資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。  
■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

## 【ご購入に際しての留意事項】

### ◆投資信託に係るリスクについて

投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。

なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」を必ずご覧ください。

### <投資信託に係る費用>

#### ◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	上限4.32%(税抜4%)
換金時手数料	上限1.08%(税抜1%)
信託財産留保額	ありません。

#### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して <b>上限年率2.727%(税込)</b> *一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

※上記手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、あおぞら投信が運用するすべての投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

あおぞら投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2771号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。■当資料に示されたコメント等は作成時点の見解であり将来予告なく変更されることがあります。■当資料は弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■「ご購入に際しての留意事項」を必ずご確認ください。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。